

まちのわだい

町内小学校へ図書寄贈

筑後信用金庫



今年度から道徳が「特別の教科」として始められたこともあり、今回は道徳に関する図書を寄贈いただきました。頂いた図書は、各小学校で大切に使用させていただきます。

11月13日(水)、筑後信用金庫から町内3小学校へ、図書30冊を寄贈いただきました。筑後信用金庫からの寄贈は平成26年、創立90周年を記念して始められたもので、今年で6回目を迎えます。

チャリティー金寄付

広川町商工会青年部



11月28日(木) 広川町商工会青年部から広川町へチャリティー金10万円を寄付いただきました。頂いた寄付金は、10月に行われた広川町商工会青年部の50周年チャリティーゴルフコンペで集められたものの町の事業で大切に使用させていただきます。

皆で汗を流す

ファミリーバドミントン大会



中広川小学校で11月17日(日)、ファミリーバドミントンの「第9回広川町スポーツフェスタ 第16回樋口杯大会」が行われました。幅広い年齢の人が多く集まり、皆で汗を流しました。

●ファミリーバドミントンをしてみませんか？
お気軽にお問い合わせください。

問事務局 山下
090-71665-44991

町内小学校へお茶提供

JA茶業部会広川支部



11月25日(月)、JA茶業部会広川支部から町内の小学4年生へ、八女茶が提供されました。急須がない家庭もあるといわれるほど、お茶離れが進んでいる今日。子どもたちに日本茶文化を伝えようと、JA茶業部会広川支部では毎年、小学校の給食時間にお茶を提供しています。普段ペットボトルのお茶を飲むことが多い子どもたちは、急須で入れられる様子を熱心に見ていました。

ホース中継・送水を確認

広川町消防団



広川町消防団が11月17日(日)、広川ダム周辺でホース中継、送水の要領を確認する訓練を行いました。

当日は広川ダム西側付近を火災現場と想定し、消防ポンプ車6台で梯区の防火水槽から取水。火災現場と取水場所が離れており、高低差がある場合に備えて訓練しました。

躍進賞2位

市町村対抗福岡駅伝



11月17日(日) 筑後広域公園で開催された「第6回市町村対抗福岡駅伝」で、広川チームが躍進賞2位に入賞しました。県内60市町村の代表チームが参加する中、広川チームは力を合わせ、9区間30・1キロメートルを1本のタスキでつなぎました。

ダンスで全国大会出場 チーム MOSURA

12月14日(土)、愛知県で開催された「ALL JAPAN CHALLENGE CUP 2019 FINAL」に、広川町のダンススタジオ WHEAT に所属するチーム MOSURA が出場しました。

チーム MOSURA は、高田実夢さん、中村莉奈さん、堤来夢さん、齋藤愛音さん(4人とも中広川小6年)を含む8人チーム。朝倉市で11月17日(日)に行われた九州最終予選で優勝し、全国大会へ出場を決めました。

なお、4人には青少年の健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」と、スポーツ振興を目的に寄与される「スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。

※写真は九州最終予選のもの



農業知識・技術で全国大会出場 野中青空さん

10月22日(祝)〜24日(木)に開催された「第70回日本学校農業クラブ全国大会令和元年度南東北大会」農業鑑定競技・畜産の部で、鬼ノ瀧区の野中青空さん(八女農業高校3年)が最優秀賞を受賞しました。

野中さんは「最優秀賞をもらったのは歴代の先輩たちや毎日朝早くから夜遅くまで勉強に付き合っていただいた白木先生、そして応援してくれた家族や友達のおかげです。本当にありがとうございました」と受賞の喜びを語りました。

なお、野中さんには青少年の健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」が贈られました。



左から吉住教育長、八女農業高等学校古賀校長、野中さん、渡邊町長

空手で全国大会出場 真総合空手道圏碁會

町内の小中学生5人(真総合空手道圏碁會所属)が、空手で全国大会出場を決めました。「第3回ジャパンスリートカップ決勝大会」(1月19日・大阪府)に江田吉輝さんと佐藤恵菜さん、「第5回全日本少年少女空手道選手権大会」(1月26日・兵庫県)に柿原昂さん、森尾優愛さん、佐藤恵菜さん、柿原芽衣奈さんが出場します。

5人は11月25日(月)、町長と教育長のもとを訪れ、「日本一を目指します」と意気込みを語りました。

なお、5人には青少年の健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」と、スポーツ振興を目的に寄与される「スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。



左から吉住教育長、江田さん、真総合空手道圏碁會代表吉田さん、柿原昂さん、森尾さん、佐藤さん、柿原芽衣奈さん、渡邊町長

世界のマナーやしきたり学ぶ グローバルお作法キャンプ

ゲストハウス Orige で11月24日(日) 小中学生12人が世界のマナーやしきたりを学びました。

今回のテーマはエジプトとヨルダンの。エジプト人講師から「イスラム教の学校では男女別のクラス編成がある」「豚肉を食べないなど、ルールがたくさんある」といったエジプト文化を学びました。その後はヨルダンでのボランティア経験がある日本人講師と一緒に、現地の書道や食事(片膝を立てて食事する)を体験しました。

参加者は「日本と海外では、文化だけでなく考え方も違うことを認め、受け入れることが大切だ」と学んだ様子でした。



卓球で全国大会出場

野中琉雅さん

11月8日(金)〜10日(日)、維新百年記念公園スポーツ文化センター(山口県)で開催された「全日本卓球選手権大会」に、内田区の野中琉雅さんが出場しました。

野中さんは「今回の全国大会では惜しくも3回戦敗退でしたが、次は全国大会で3位入賞を目指して、練習をもっと頑張ります」とさらなる飛躍を誓いました。

なお、野中さんには青少年の健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」と、スポーツ振興を目的に寄与される「スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。



「一言の願い」で受賞

丸山葵生さん



願い事をつづったはがきを募る「第5回はがきの名文コンクール」で、丸山葵生さん(中広小2年)が日本郵便大賞を受賞しました。

丸山さんは「大人になったらどのように過ごしたいか」を書いて応募約2万7千通の中から作家の五木寛之さんらが選考し、21点の受賞作の一つに選ばれました。11月23日(土)には奈良県御所市で表彰式が行われ、表彰状を受け取りました。

秋の彩り楽しむ

太原イチョウ巡り



11月下旬、太原のイチョウが見ごろを迎え、秋の彩りを楽しむため多くの人が散策に訪れました。

5年ほど前メディアに取り上げられて以降、毎年人気のスポットとなっている太原のイチョウ。好天だった23日(土)には朝早くから大勢の観光客が訪れ、写真撮影を楽しんだり、きれいな落ち葉を探したりと、黄金の森の中で思い思いに過ごしていました。